

# 経済産業省 地域×スポーツクラブ産業研究会

- 課題意識の振り返り（前回の資料）
- 課題を解決するためのポイントと、未来像について
  - ①学校部活動が地域単位の段階的に移行するために
  - ②スポーツ環境が学校から地域へ移行していく未来像

# 論点（モノ・ヒト・カネ + α）と課題意識

## ①活動場所の確保

- 学校施設の目的外利用の推進
- 上記を支える安心・安全徹底 等

### <課題意識>

- スポーツの活動単位が、学校や少年団、クラブ等「所属」が細分化されており、その垣根が、スポーツをする機会の効率化と最大化を阻んでいる
- やりたいスポーツと、できるスポーツの一致が困難な場合が多い
- 障がい者がスポーツをする場所と機会が限られている
- 地方・田舎の交通手段は「車」であり、小・中・高生は休日など保護者による「送迎」に対する課題を抱える関係者は多い
- 雪国では冬季間、屋外施設が閉鎖されることが多く、屋内施設が取り合いとなる

## ②指導者の確保/質の担保

- 指導者の質に必要な資質とは
- ライセンス制度の整理・新設
- ライセンスに紐づいた雇用・報酬体系の整理 等

### <課題意識>

- 指導者の質的評価をすることは難しいが、エビデンスに基づいた第三者による指導者の資質や指導内容の評価が必要になってくる
- 報酬を受け取る指導者や事業者と「契約書」を交わし、ジョブディスクリプション、役割と責任を明確化する必要がある
- 指導者 = 経営者とするのか？ 指導以外に必要な時間と手間に対する報酬の検討
- 子育て世代の女性指導者の課題について検討する必要がある

# 論点（モノ・ヒト・カネ + a）と課題意識

## ③運営資金の確保/エコシステム構築

- 公的財源の確保
- 民間企業の参画促進 等

### <課題意識>

- 事業運営能力を高度化する必要がある
- 経理関係を一括してIT化する等、指導者や経営者の作業効率を向上させるサポートや技術が必要
- toto（スポーツくじ）の対象スポーツの拡大
- 豪雪地帯等、施設の暖房費や除雪に係る費用負担への補助

## +a 論点

- 学校教育における「体育」
- 中体連・高体連のあり方
- スポーツをする側の権利

### <課題意識>

- 正しい姿勢、歩き方、走り方等、スポーツをするため、健康で生きていくために必要な、基本的な体の構造や機能を知る教育が不足している
- 学校の体育によって「運動嫌い」が生まれている可能性がある？
- 中体連や高体連など、学校対抗を軸としたスポーツ活動の課題を明確にしていく必要がある
- IOCの「アスリート憲章」やWADAの「Athlete' Anti-Doping Rights Act」等、アスリートが権利を主張し始めてきている

# ① 学校部活動が地域単位に段階的に移行するために

## 課題を解消をしていくための3つのポイント

学校部活動単位で出場する大会  
全国中学校体育大会（中体連）  
インターハイ（高体連）  
の将来の未来像を明確にする

- 学校部活動においては頂点とされる「全中大会」と「インターハイ」のあり方が、地域スポーツクラブへ移行していくためには重大なポイントである
- 部活動を基礎にした学校にあるスポーツ関連施設や学校教員が担っている指導者がスポーツをするために欠かせない地域もある。学校部活動のメリットを生かし、デメリットを解消していく方法を地域の実情に合わせて検討が必要

今後、運営主体となっていく  
地域スポーツクラブが責任を  
果たせるために必要な体制を明確にする

- 今まで学校や教育委員会、県などに管理責任があったものが、地域スポーツクラブに移行することが想定される。責任を果たせるに相応しい法人格に移行や、体制維持など支援の検討が必要
- 指導者と管理者、経営者の業務や責任をいわゆる「契約」として、その業務範疇を明確にすることが必要

公共施設の維持管理運用が  
行政の予算如何によって存続が  
左右される状態を解消していく

- 自治体の予算縮小で、真っ先に削減の対象となるのが体育館などの施設である。「スポーツをする場」の維持管理の仕組みに長期の持続性・安定性などの観点を入れた仕組みにする必要がある。（例：広域化など）
- 地域においてスポーツを実施していくためには、行政のサポートに頼るところが大きい。

日本のスポーツをどうしていくのか、全体のビジョンを更に具体的に

## ②スポーツ環境が学校から地域へ移行していく未来像

**マイナーチェンジではなく、大胆な改革を。**

**既存の大会、所属に縛られない！**

**お金を生み出し、循環させる新たな大会を創出する**

### **新たな大会が創出すべき価値**

- 学校単位に縛られない参加者
- マネタイズに値する運営（参加者への賞金支払い含）
- 地域スポーツクラブへの利益還流
- 指導者への金銭的投資
- 民間企業の参画による経営視点での運営
- 最新技術の試験・提供の場
- 地域住民を巻き込む地域イベント
- 自治体で維持管理している体育施設の整備

